

(様式3号)

学 位 論 文 の 要 旨

氏名 磯村 由美

〔題名〕

意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標開発

〔要旨〕

1. 研究の目的

意思伝達能力の低下した高齢者の日常生活場面において、看護師が高齢者の意思をくみ取り看護援助を展開する過程を明らかにし、看護実践場面で活用できる「意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標」を開発する。

2. 研究の方法と結果

【研究1】

意思伝達能力の低下した高齢者に対して日常生活援助を実践している看護師23人を対象に、半構造化面接を行い、修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を用いて分析した。その結果、2コアカテゴリー・9カテゴリー・32概念から成る「意思伝達能力の低下した高齢者の意思を看護師がくみ取り援助を展開するプロセス」を明らかにした。

【研究2】

研究1の結果から作成した「意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための項目」の妥当性を検証するために、老人看護専門看護師139人を対象に、4件法を用いた無記名自記式質問紙調査を行った。Lynnの内容妥当性の定量化の方法を参考にして分析した結果、7項目の内容妥当性が0.78に満たなかった。

【研究3】

研究2で妥当性が得られなかった7項目を除いた25項目の実践上の妥当性・信頼性を明らかにするために、全国の療養病床（100床以上）を有する医療施設1071施設の看護師（1施設1人）を対象に、4件法を用いた無記名自記式質問紙調査を行った。最尤法のプロマックス回転による探索的因子分析の結果、4因子が抽出され、因子負荷量が0.4以下となった2項目を削除した。各因子および指標全体のCronbachの α 係数は0.725～0.924であった。また、共分散構造分析による実践モデルを作成した結果、RMSEAが0.75（信頼区間0.68～0.83）となった。妥当性・信頼性が明らかになった23項目からなる『意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標』を作成した。

3. 今後の発展性と課題

今後は、本指標を臨床の場で実際に用いて、改善を図り、高齢者の意思決定支援におけるアドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning: ACP) の一部として活用できる指標として発展させていく。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 1617 号	氏 名	磯村 由美
論文審査担当者	主査教授	田中 愛子	
	副査教授	伊東美佐江	
	副査教授	堤 雅恵	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標開発			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合は、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。)			
意思伝達能力の低下した高齢者の意思を看護師がくみ取り援助を展開するプロセス			
掲載誌名 日本看護研究学会雑誌 第 43 巻 第 2 号 P. 177 ~ P. 187 (2020 年 掲載 ・掲載予定)			
(論文審査の要旨)			
<p>申請された学位論文は、意思伝達能力の低下した高齢者の意思に注目し、看護実践場面で活用できる「意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標」の開発を目指すことを目的に、3つの研究で構成されていた。</p> <p>【研究1】 「意思伝達能力の低下した高齢者の意思を看護師がくみ取り援助を展開するプロセス」を明らかにする目的で、意思伝達能力の低下した高齢者の日常生活援助を実践している看護師23名を対象に、修正版クラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた質的研究が行われ32概念が抽出された。</p> <p>【研究2】 研究1の結果から抽出された「意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための項目」の妥当性を検証するために、老人看護専門看護師139人を対象に質問紙調査を行い、Lynnの内容妥当性の定量化により、項目は25項目に厳選された。</p> <p>【研究3】 研究2で抽出された25項目4件法を用いた全国の医療施設の看護師284の調査回答結果から、4因子が抽出され23項目からなる「意思伝達能力の低下した高齢者の意思をくみ取り援助を実践するための指標」が開発されるとともに、4因子の共分散構造モデルが創出された。</p> <p>本研究は、国内外の広範囲かつ詳細な文献検討を踏まえ、綿密に計画された3つの研究から構成されており、学位論文は、ヒューマンケアリングサイエンスに基づいた完成度の高い内容であった。研究1の結果は、日本看護研究学会雑誌の原著論文としてすでに公表されている。その結果は、その後2段階にわたり統計的分析を用いて項目が洗練され、最終的に新たな指標が開発された。その指標は意思伝達能力の低下した高齢者の意思の把握を困難とする看護師に、観察視点や看護実践の質向上を齎す有用なものである。また老年看護学分野に多大なる貢献をするものと思われる。以上から、審査委員会は、申請された学位論文が博士(保健学)にふさわしい価値あるものと認める。</p>			
以上			

備考 審査の要旨は800字以内とすること。